



No.404 令和6年9月30日

おおたこうれん



会場風景

大田工業連合会青年部連絡協議会と六郷工科高等学校（大田区、大田区産業振興協会共催）は9月9日、大田区産業プラザP104階コンベンションホールで、「マッチングセッションOTA 2024」を開いた。大田工連青年部の会員企業が展示を行い、六郷工科高等学校の生徒たちを招くマッチングイベント。両者の交流により、学生の学びや地元での就職を目指す催しだ。開催にあたり六郷工科高等学校の鈎持利治統括校長は「大田区には世界的有名な技術力のある中小企業が多く立地している。将来的就職を見据え、どんな会社に入りたいか考えるきっかけにして欲しい」と生徒たちに語りかけた。青年部の奥山隆行委員長（日新電気株）社長は「大田工連青年部の選りすぐりの会社18社が集合しました。経営者の生の声を聞き、ものづくりのワクワク感を感じてください」と笑顔で挨拶した。

出展したのは、（株）伊和起ゲージ、（有）内山研磨工業所、大森精密工業（株）、（株）菊和製作所、（株）三陽機械製作所、城南工業（株）、（株）志村精機製作所、太産工業（株）、（株）泰信製作所、大成工業（株）、トキワ精機（株）、新妻精機（株）、日新電気（株）マックス、（株）松尾工業所、（有）安久工機、（有）柳井熔接工業所、（株）渡辺精機の18社。

高校生たちは各社のブースを回り、説明を聞き終わると御朱印ならぬ「御社印」を押してもらう仕組みだ。

伊和起ゲージは、自社製品のボールねじを展示。説明員の広瀬大志さんは「ねじの回りにあるものでは駅のホームドアなどにも使われています」と解説。高校生たちはボールねじを触って、その滑らかな駆動を体験すると、「えぐつ！」「マジか！」と驚嘆の声を上げた。

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人会長 広瀬 安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話 (3766)1711
株式会社 気生堂印刷所

高校生、町工場と出会う マッチングセッションOTA 2024



町工場の技術に興味津々な高校生たち

渡辺精機では試作のサンプルを展示。鎖状の部品を削り出しで加工したと説明すると、高校生は「これを旋盤で削り出しているのですか！」と興奮した様子だった。

城南工業営業部の瀧原慧さんはブースを訪れる生徒たちについて「広い間口で興味を持ってくれて、質問が鋭い子も多かった」と語る。大森精密工業の土方徹之助社長は「本イベントをきっかけに製造業に興味を持ってもらえた」と感想を述べた。

六郷工科高等学校デザイン工学科の女子生徒は、「内山研磨工業所の技術がすごかった。デザインにも応用がききそう」と語った。同じくデザイン工学科の男子生徒は「安久工機の展示が見栄えが良く引きつけられた。お話も面白かった」と述べた。プロダクト工学科の女子生徒は旋盤好きらしく「大成工業の千葉三喜社長が旋盤にもの凄く詳しく、技術について教えてくれた。学校の勉強に活かし、旋盤3級技能士取得に向けて頑張りたい」と熱く語っていた。



奥山委員長



鈎持校長

おおた少年少女発明クラブへの協賛金(寄付金)ご協力のお願い!

お問い合わせ
申し込み

大田区内の子どもたちに技術や科学に対する興味、関心を喚起する場を提供し、大田区が誇るものづくりの楽しさを体験することによって、創造性豊かな人材育成を進めることを目的に、「おおた少年少女発明クラブ」を運営しています。そのため、クラブでは、区内企業様にものづくりの未来を担う子どもたちの活動へのご支援をお願いしています。寄付金は所得税法上の寄付金控除、または法人税上の損金算入額の特例が受けられます。

「おおた少年少女発明クラブ」事業概要

対象	区内在住・在学の小学4~6年生
活動期間	毎年4月~翌年3月 ※募集は毎年3月初旬予定
内容	ものづくりの楽しさを体験学習させる機会を継続的に提供し、技術や科学に対する興味・関心の喚起、子どもの創造性を伸ばすことで、将来の大田区のものづくりを支える人材育成に寄与することを目的としています。年間20回程、土曜日の午後に活動を行い、工場見学なども行います。



8月22日に開催した全国少年少女チャレンジ創造コンテスト大田地区大会

公益財団法人大田区産業振興協会（産業者支援部 産業人財係）

TEL 03-3733-6109 FAX 03-3733-6459 受付時間 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日（休祝日・年末年始を除く）

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1丁目20-20 大田区産業プラザ

小学生親魅がものづくりの見聞隊」開催



熱い鉄の加工を見守る発見隊と保護者たち

学生親子による工場見学・ものづくり体験イベント「産業のまち発見隊」を開催した。大田区内に在住か通学する小学4年生から6年生の子供と保護者が大型バスに乗り、午前は中小製造業の工場を見学、午後は工作体験をするイベント。7月26日の第1回は23組46人、8月20日の第2回は21組42人の親子が参加。普段は見られない、大田区のものづくり、その技と魅力を「発見」した。

7月26日の発見隊は、午前中に（株）畠山鐵工所を訪問した。同社は船舶などに使われる、大型鉄

鋼部品の鍛造メーカー。真っ赤に熱された鉄塊を750トンから2000トンという巨大なプレス機で加工する現場は、熱気が立ちこめる。子供たちは汗を流しながら製造工程を見学。保護者たちは真っ赤に焼けた鉄塊をスマートフォンで撮影した。

同社の畠山和也社長は、子供たちに自社の事業を説明。「鉄の形を変えるだけでなく、叩くことで硬度も変化します。鉄を鍛えるので『鍛造』と呼ばれます」「短い時間で製品を納められるよう、材料は少なくなったらすぐに発注し、常にストックしています。冷蔵庫の中身が少なくなったら、野

その後、バスで東京都立城南職業能力開発センター大田校に移動。同校の教育設備である工作機械を使い、オリジナルのテープカッター作りに取り組んだ。

8月20日の第2回では、ねじメーカーの（株）桂川精螺製作所を訪問した。子供たちは普段目にすることのないねじの製造工程を興味深く見学、その後は手動の加工機を使いねじの製造体験を行った。ねじはストラップに加工し、子供たちはそれぞれ世界でひとつだけのアクセサリーを作成。小学5年生の高田蒼巳さんは「ねじの製造工程を知ることができ、楽しかった。ストラップはランドセルに付けたい」と嬉しそうに話した。

同じ場所で、同社がパートナー契約を結ぶ宇宙ベンチャー「（株）ダイモン」も展示を行った。子供たちは小型月面探査車「YAOKI」の操縦に挑戦したほか、月と同じ重力環境下を再現するYAOKIの駆動実験を見守った。月の重力は地球の六分の一。その環境を再現するため、高所から箱を落とし、その中でYAOKIが駆動しているか確かめる実験だ。猛スピードで落下する箱の中の動きを肉眼で確認するのは困難だが、箱の内部を撮影した動画ではYAOKIが駆動しており、子供たちは感嘆の声を上げた。

午後は日本工学院専門学校蒲田校に移動し、「バーサライタ」を制作した。バーサライタは列に並

んだLEDを左右に高速で動かし、残像で好きな文字や絵を表示するデイスプレイ。子供たちは、同校学生のサポートを受けながら、ハンダごてを使って電子回路を制作し、表示する文字をパソコンで入力。バーサライタを完成させた親子は、文字やイラストがちゃんと表示されているか、確認し合っていた。

8月20日の発見隊に参加した村木友翔さんは、約10年前にお兄さんも発見隊に参加していた。「（お兄さんは）発見隊でものづくりに興味を持ち、今は高専でプログラミングを勉強しています」と、村木さんのお母さんは語る。大手企業に就職も決まつたそうだ。産業のまち発見隊をきっかけに新たなエンジニアが生まれたなら主催者としてこれほど喜ばしいことはな



ハンダごてを使ってバーサライタを作成



ねじで作ったアクセサリー



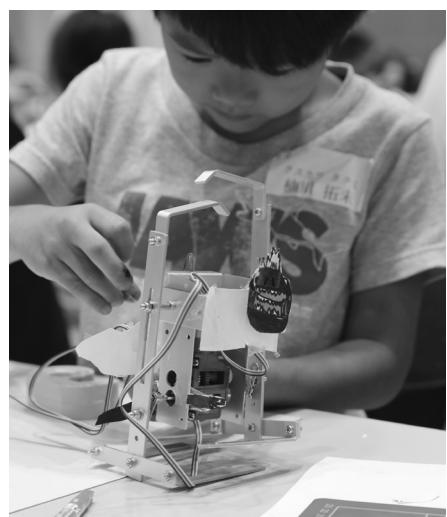
YAOKIの無重力実験



力を込めねじの加工機を動かす



親子でロボット作りに集中



ステッピーの歩行テスト

完成するステッピーが増えてくると、テスト場を超えてあちこちでステッピーの駆動テストが行われた。大展示ホールはシャカシャカの賑やかさに包まれていた。

小学1年生の楠川拓未さんは、ステッピーにゴジラの顔を付けて完成させた。「組み立ての際に似ている部品があり紛らわしかった」と感想。ステッピーゴジラに

小学4年生の玉木忍さんは「ギアボックスの制作は簡単だっただけで、ネジを締めるのに力が必要で大変だった」。元々電子工作好きらしく、玉木さんのステッピーはスムーズに歩行していました。

24日、25日、大田工業連合会と大田区は、大田区産業プラザPiO 1階大展示ホールにて、「親子で楽しむ「ロボット作り教室」を開催した。大田区内に在住または在学する小学1～4年生が対象で、保護者同伴で各回約100組200名、合計約400名が参加した。

24日朝の教室開催にあたり、当会の吉崎彰事務局長は「大田区はものが将来のロボット技術者の誕生のづくりの町です。今回のイベントが

につながってほしいと思います。最後まで頑張りましょう」と挨拶した。同教室では、芝浦工業大学の関連事業法人である(株)エスアイテックが教材として製造・販売する二足歩行ロボット「ステッピー」を教材に使った。同社が講師を務め、芝浦工業大学の学生が指導員として各班につき、ロボットづくりをサポートした。

ステッピーは組み立て式ギアボックス、2チャンネルリモコンで構成。組み立ては、ギアボックスからスタート。親子は説明書と部品を交互にながめつつ、慎重にパーツを組み立てた。ねじを締め、綿棒にグリスを付けて塗布するなど細かい手作業に集中した。工作中に力がいる場面もあり、親が部品を抑えて子供が工具を使うなど、協力して作業を進めた。

昼休みを挟み、午後の作業時間になると、ステッピーを完成させ

る子がちらほらと現れた。子供たちは会場後ろのテスト場にロボットを持って行き、歩行や綱渡りなどをさせた。倒れたりうまく歩けなかつたりするとまた作業テーブルに戻り部品を調整。うまくス

テッピーが歩き出すと、飛び跳ねて喜ぶ子もいた。

小学1年生の玉木忍さんは、「ギ

アボックスの制作は簡単だっただけで、ネジを締めるのに力が必要で

大変だった」。元々電子工作好き

らしく、玉木さんのステッピーは

なめらかな歩行をさせるべく、テ

スト場とテーブルを何往復もし

た。



ステッピーの綱渡り

親子で楽しむ「ロボット作り教室」2024



福利厚生の充実で、人財確保・人財定着へ

大田区勤労者共済は、公益財団法人大田区産業振興協会が運営する区内中小企業向けの福利厚生サービスです(令和6年8月1日現在1,280事業所、3,982人が加入されています)。わずかな掛金(入会金200円、月会費500円)で、社員の皆さんのが楽しく、充実した生活を過ごしていただく環境を提供。事業主や社員、そのご家族も一緒に楽しめます。

★今日、若者が仕事を選択する際、「福利厚生が充実していること」を重要視しています。

★心豊かな生活を送ることが、明日の働く力につながります。

当共済サービスを活用して、人財の確保に、人財の定着につなげていきましょう!!

提供サービスの内容(一例)

- ・慶弔費の給付 各種祝金(結婚・出産等)・祝品(入学・継続)、見舞金、弔慰金
- ・映画券 ... 1,000円から提供。デジタルチケットもあります。
- ・食事券 ... 有名ホテルのグルメがお手頃価格(ホテルグランバッハ東京銀座 ランチコース 4,840円⇒3,500円)
- ・入浴券 ... 公衆浴場のセット券やおふろの王様(大井町店)が割引価格でご利用可能
- ・その他 ... 観劇、コンサート、スポーツ観戦、レジャー施設等の割引券も斡旋しています。

まだまだいっぱいありますよ(^^)/



よく働き、
よく遊ぼう!!

大田区勤労者共済

検索

お問い合わせ・資料請求

TEL03-3733-6107【大田区産業プラザ(PiO)1階】

受付時間 9:00～17:00 月～金曜日(休祝日・年末年始を除く)